

令和 2 年度 森林づくり推進支援金 事業実績

みんなの暮らしを守る森林づくり					
市町村名	事業名	事業内容	事業費	支援金	備考
上田市	松くい虫被害木処理事業	伐倒駆除 88本	3,523,300	3,523,000	
東御市	松くい虫防除事業	伐採・玉切・刈払い 50m3	1,012,000	1,010,000	
長和町	松くい虫枯損木処理事業	ライフラインの 枯損木処理 16本	1,053,580	920,000	
青木村	松くい虫被害防除処理	伐倒駆除 38㎡	863,500	853,000	
計			6,452,380	6,306,000	
木を活かした力強い産業づくり					
市町村名	事業名	事業内容	事業費	支援金	備考
上田市	地域産材活用事業	木製ベンチ 9基	539,000	539,000	
計			539,000	539,000	
森林を支える豊かな地域づくり					
市町村名	事業名	事業内容	事業費	支援金	備考
上田市	別所温泉森林公園整備	防護柵修繕 21m	891,000	485,000	
長和町	古町有坂山公園整備事業	地拵え、植栽、下刈り 9ha	193,600	129,000	
	星糞峠縄文森林公園整備事業	遊歩道の整備 660m	198,000	133,000	
計			1,282,600	747,000	
合 計			8,273,980	7,592,000	

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

上田市

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る森林づくり	松くい虫被害木処理事業
事業費 3,524 千円 (うち支援金: 3,524 千円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

上田市では守るべき松林を絞り込み、伐倒くん蒸等で松くい虫被害の対策を行っているが、補助対象区域外でも松くい虫被害は発生しており、放置しておくとしるべき松林への被害の拡大を招く恐れがある。また、道路、建物、墓地等の構造物周辺への発生も多く、対応に苦慮しているところである。

(2) 本事業の目的

補助対象区域外で発生している松くい虫被害木のうち、守るべき松林への被害拡大防止のための伐倒処理等や、倒木時に構造物等に被害が出る可能性がある松くい虫被害木の伐倒処理等を行う。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 上田市一円

(2) 対象者 上田市

(3) 実施方法 伐倒駆除等

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30~令和 4 年度)

令和 4 年度までに 755 本の松くい虫被害木の伐倒駆除等。

②令和 2 年度実績

松くい虫被害木 88 本の伐倒駆除等。



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

守るべき松林への被害拡大の防止、松くい虫被害木の倒木による事故等の防止。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

例年実施している事業であり、松くい虫被害の対策として継続的に行っていく必要がある。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

住民要望に基づいて実施する事業のため、普及性は担保されている。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

本年度は88本の伐倒駆除等を行い、松くい虫被害拡大や倒木等による事故の防止に効果があった。松くい虫対策事業を継続して実施していることもあり、年々伐採本数は少なくなっており、通算の伐倒駆除等の本数は416本である。

(2) 課題

伐採量は減ってきているが、松くい虫被害木は依然として発生しているので、継続して対策を続ける必要がある。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

令和3年度以降も、松くい虫被害を防止するため、当支援金を活用していきたい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	上田市
------	-----

No.	事業項目	事業名
2	木を活かした力強い産業づくり	地域産材活用事業
事業費 539 千円 (うち支援金: 539 千円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

上田市は 5,900ha 余りの山林所有者であり、市有林整備については毎年計画的に森林整備を進めているが、私有林については適切な森林整備が実施できていない状況にある。

(2) 本事業の目的

県産材を利用した木製ベンチを市施設に設置し、市民等に対して県産材の普及、啓発を行う事で森林の有する多面的機能の周知や、森林施業への意欲を持ってもらう。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 武石地域総合センター ほか 6 施設

(2) 対象者 上田市

(3) 実施方法 木製ベンチの設置

(4) 事業目標及び当年度事業量

全体計画 (平成 30~令和 4 年度)

令和 4 年度までに木製ベンチ 30 基の設置。

令和 2 年度実績

木製ベンチ 9 基の設置 (累計 27 基)



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

県産材を利用した木製ベンチと解説パネルを併せて設置することで、県産材の有効活用と普及啓発を図ることができる。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

多くの住民が訪れる市施設に設置することで、継続的に県産材に触れてもらい、事業効果が得られる。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

木製ベンチを設置することで、老若男女問わず利用することができ、普及効果は大きい。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

令和4年度までの目標に対し今年度は9基のベンチを設置し、県産材の有効活用及び普及啓発を図ることができた。

(2) 課題

設置した木製ベンチの維持管理についての検討が必要。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

要望を頂いていてもまだ設置できていない箇所があり、来年度からも継続していきたい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

上田市

No.	事業項目	事業名
3	森林を支える豊かな地域づくり	別所温泉森林公園整備事業
事業費 891 千円 (うち支援金: 484 千円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

近年、森林に対する住民の意識・価値観が多様化し、林業生産のみならず森林の有する公益的機能(森林レクリエーション等)が求められることから、市民のニーズに合わせた森林整備が必要とされている。

(2) 本事業の目的

別所温泉森林公園は、市町村を超える広域的な森林レクリエーションの場として整備された。しかし、年数が経ち施設の老朽化がみられることから、安全性を確保し継続して森林レクリエーションの場を提供することを目的として、施設の修繕整備を行う。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

- (1) 実施場所 上田市別所温泉森林公園
- (2) 対象者 上田市
- (3) 実施方法 老朽化した防護柵等の修繕整備
- (4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(令和 2~4 年度)

令和 4 年度までに老朽化した防護柵等を修繕整備。

②令和 2 年度計画

老朽化した防護柵の修繕 21m。



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

別所温泉森林公園は、コテージや散策路等が整備されており住民へ森林レクリエーションを提供する重要な場所となっている。老朽化した施設の修繕で、引き続き住民へサービスを提供することができる。

(2) 継続性

老朽化した施設を修繕することで安全性を確保でき、継続的に森林レクリエーションの場を提供することができる。

(3) 普及性

市町村を超えて利用される場所であるため、多くの人が森林レクリエーションを体験できる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

老朽化した防護柵の修繕を行い安全性を確保することができたため、継続的に多くの人へ森林レクリエーションの場を提供することができた。

(2) 課題

全体的に老朽化しているため、施設の維持管理についての検討が必要。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

施設の整備を行っていくうえで、地元材の使用についても検討していきたい。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	東御市
------	-----

No.	事業項目	事業名
	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫対策事業
事業費 1, 0 1 2, 0 0 0 円 (うち支援金: 1, 0 1 0, 0 0 0 円)		

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

松くい虫による被害が拡大の一途をたどる中、松林健全化推進事業の補助対象外の場所においても被害木が増加している状況である。

(2) 本事業の目的

((1) の課題への対応方向について記載)

松林健全化推進事業の補助対象外の場所での樹種転換（伐採）を行う。

事業内容

(1) 実施場所：芸術むら公園周辺

但し、松林健全化推進事業の補助対象外地区

(2) 対象者：一般市民

(3) 実施方法：伐採・玉切・刈払い 50m³

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画（平成 30 年～5 年度）

対象箇所は、東御市森林整備計画の保安・レクリエーション公益的機能森林を含めた場所でもあり、景観的にも優れていますが近年、松くい虫被害が発生し景観が損なわれています。

平成 3 0 年度で松くい虫被害木の伐倒くん蒸処理を終了し、令和元年については、景観維持のため樹幹注入及び被害木が発生した場合には伐倒くん蒸処理を行っています。

令和 2 年度～3 年度にかけて、松くい虫被害により著しく景観が損なわれている箇所の樹種転換事業を行います。

令和 2 年度事業実施箇所は、令和 3 年度の上小地区森林祭で、広葉樹等の植樹作業が実施されます。

令和 4 年度～5 年度にかけて、樹種転換箇所の保育及び残存松林の樹幹注入及び被害木の伐倒くん蒸を行いません。

事業実施前



事業実施後



事業実施



事業効果

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

松林健全化推進事業の補助対象外の樹種転換することにより、被害の拡大を防止及び景観の保存、再生をする。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

継続して事業を行う事で、松くい虫被害の減少、景観の保持を図る。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

被害木を処理することにより、松くい虫被害地域の減少及び景観の保持を図る。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果状況

東御市八重原地区但し、松林健全化推進事業の補助対象外地区の面的に松くい虫被害発生箇所において、樹種転換の為に伐採を実施しました。

(2) 課題

当該地では、面的に発生している箇所の樹種転換は実施したが、周辺には、点々と被害木があること感染拡大が予想されます。景観の保持の為に今後も、早い段階で松くい虫被害防除等の早い事業展開が必要です。

(3) 今後の取組方向

■事業内容を見直して継続する

令和2年について、東御市八重原地区で松くい虫被害により荒廃した松林の、樹種転換を行います。令和4年から令和5年度については、景観維持のため樹幹注入を毎年約40本行っています。

(別記様式第 15 号)

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

長和町

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	古町有坂山公園整備事業
事業費 193,600 円 (うち支援金 129,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

古町有坂山公園は、マルメロの駅ながと、長門温泉やすらぎの湯の北西に位置し、近隣の住民や観光で訪れる方の目に触れる場所にあり、全町桜運動において山桜の植栽を行ったが下草が伸び整備が必要な状況となっている。

(2) 本事業の目的

この公園の択伐、下草刈り等を行い整備し、山桜の保護と景観の保全を図る。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 長和町古町有坂山公園

(2) 対象者 土地所有者 長和町

(3) 実施方法

森林公園の択伐、下草刈り等を行い、山桜の自然保護と景観の保全を図る。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～令和 3 年度)

平成 30 年度 (北側) 約 5 ha

令和元年度 (南側) 約 4 ha (公園面積 16.9ha)

令和 2 年度 (北側及び南側) 約 9 ha の下草刈り等整備及び山桜の補植

令和 3 年度 (西側) 約 5 ha

②令和 2 年度実績 約 9 ha



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

古町有坂山公園を整備することにより、森林づくりに関する地域住民等の意識を高め、森林に触れる機会の向上及び市町村を超える広域的な利用が図れる。

(2) 継続性

平成30年度～令和3年度にかけてマルメロの駅なかと、長門温泉やすらぎの湯の周辺にある町有林の整備を計画している。

(3) 普及性

マルメロの駅なかと、長門温泉やすらぎの湯の北西に位置し、近隣の住民や観光で訪れる方の目に触れる場所にあり、森林づくりに関する地域住民等の意識を高め、森林に触れる機会の向上が見込まれる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

マルメロの駅なかと及び長門温泉やすらぎの湯の北西に位置する、古町有坂山公園を整備することにより、森林づくりに関する地域住民等の意識を高めるとともに、山桜を植栽することで、自然保護と景観向上に向けた取組みを実施することができた。

(2) 課題

引続き、整備及び植栽箇所の維持管理をしていく必要がある。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

平成30年度、令和元年度整備箇所の維持管理及び公園整備を継続して行う。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

長和町

No.	事業項目	事業名
2	みんなの暮らしを守る森林づくり	松くい虫被害枯損木処理事業
事業費 1,053,580 円 (うち支援金: 920,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

町内の松くい虫被害が深刻となっており、特に枯損木による建物や墓石の倒壊および道水路等ライフラインへの影響が懸念される。

(2) 本事業の目的

町内の家屋・道路等のライフラインに、将来的に影響がある松くい虫被害枯損木の伐倒処理を行う。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 町内全域

(2) 対象者 長和町

(3) 実施方法

松くい虫被害枯損木を特殊伐採等により伐倒処理

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～令和 4 年度)

長和町内の道路沿い・住宅沿い・墓地等の松くい虫被害枯損木の伐倒処理

②令和 2 年度実績

松くい虫被害枯損木処理 16 本



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

松くい虫被害枯損木の伐倒処理を行い、町民の安全保持と景観の美化を図る。

(2) 継続性

当町では、伐倒くん蒸等により、松くい虫被害木の処理をおこなっているが、伐倒くん蒸の事業で実施できない松くい虫被害枯損木の伐倒処理事業を行う。

今後も町内の安全保持と景観美化のため整備を行っていく。

(3) 普及性

国道沿いにある枯損木を処理することで、町民のライフライン等の保全対策となるだけでなく、町内及び県内へ観光で訪れる方々に対しても、美しい景観と安全を提供することができる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

建物や道路、電線などのライフラインへの被害防止のため、伐倒くん蒸処理事業を実施できない危険箇所の松くい虫被害枯損木の特殊伐採処理を行うことでライフライン及び住宅等への被害を防止し、景観の美化を図ることができた。

(2) 課題

引続き、町内の松くい虫被害対策事業を実施するとともに、危険箇所等の枯損木処理を行うことで住民に安全を提供していきたい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

松くい虫被害枯損木を処理し、倒木等被害未然防止に努めていく。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

長和町

No.	事業項目	事業名
3	森林を支える豊かな地域づくり	星糞峠縄文森林公園整備事業
事業費 198,000 円		(うち支援金 133,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

星糞峠縄文森林公園は、ミズナラやカシワなどの広葉樹が主体となっており、ここに通じる遊歩道の整備や公園等の整備として、除間伐等を継続して行っている。

(2) 本事業の目的

公園整備を継続して行うことにより、森林に触れる機会の提供や、市町村を超える広域的な利用を図る。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 : 長和町大門追分地籍

(2) 対象者 : 土地所有者 長和町

(3) 実施方法 : 町内林業者へ委託

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 29 年度～令和 4 年度)

②令和 2 年度 実績 遊歩道の整備 660m (除間伐と伐採後の集積木の破碎処理)



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

星糞縄文森林公園を県産材で整備することにより、当地域の自然環境の歴史を伝えることになり、また、県産材産材の良さをPRし、森林づくりに関する地域住民等の意識を高め、森林に触れる機会の向上及び市町村を超える広域的な利用が図れる。

(2) 継続性

平成25年度の全体計画設計に基づき、継続的に星糞峠縄文森林公園の整備を行ってきた。昨年度から補助金の減額により事業を縮小し、遊歩道周辺を優先として立枯れた樹木及び支障木の徐間伐を行ってきた。

令和2年度についても継続して遊歩道周辺の徐間伐事業を行う。

(3) 普及性

この公園では、史跡の見学や開催イベントに参加する方が全国から訪れるため、公園整備は信州の森林に触れる機会の提供や広域的な利用に結びついている。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

公園利用者の安全を確保するとともに、美しい森の景観整備が進んだ。

(2) 課題

樹齢80年を超える太い松の木の立枯れが進んでおり、公園利用者の安全確保が大きな課題とされている。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

当初の森林整備計画書に従って、森林の状況を観察しながら、公園利用者の安全確保と森林の自然に触れる環境整備を継続的に行う。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

青木村

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る森林づくり	松くい虫被害防除処理事業
事業費 863,500円 (うち支援金: 853,000円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

青木村では松くい虫被害対策事業をおこなっているが、台風や雪害により松の木の被害があり放置しておくとき守るべき松林への被害の拡大を招く恐れがある。また景観上も木の先端が枯れ良くない状況である。

(2) 本事業の目的

((1) の課題への対応方向について記載)

補助対象外の事業で伐倒し松くい虫被害防除を行う。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 青木村一円

(2) 対象者 青木村

(3) 実施方法 伐倒駆除等

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 2 年度～令和 4 年度)

令和 4 年度までに 140 m³の松被害木の伐倒駆除等

②令和 2 年度実績

・伐倒駆除 38 m²



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

- (1) 事業実施の効果
松くい虫被害拡大防止を図り、景観の美化に努める。
- (2) 継続性
例年異常気象により、松の木の被害が多く観られるため継続して事業を行う必要がある。
- (3) 普及性
被害木を処理することにより、松くい虫被害が抑制され村内及び県内へ観光に訪れる方々に対しても、美しい景観を提供することができる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

- (1) 目標に対する成果の状況
今年度は140 m³のうちの38 m³の伐倒駆除を行った。伐倒駆除等により、松くい虫の被害拡大防止(倒木等による事故防止)や景観に効果があった。
- (2) 課題
台風や雪害による倒木の増減が読みにくいため事業量が把握しづらい。
- (3) 今後の取組方向
 - 事業を現行どおり継続する
(今後の事業実施見込について記載)
松くい虫の被害を減少させるための事業を行う。
 - 事業内容を見直して継続する
(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)
 - 事業を継続しない
(継続しない理由を記載)